

ポケモントレーナーは電気ねずみの夢をみるか！？

2H 竹内 尚也

ポケットモンスターHG，SSが発売し、ポケモンはますますヒートアップしている。アニメのサトシは**ポケモンマスターを目指して12年の10歳児**。カントーリーグでベスト16、オレンジリーグではヘッド・リーダーに勝利し、名誉トレーナーとなる。ジョウトリーグではベスト8。ホウエンリーグでもベスト8。その後、カントーのバトルフロンティア*1制覇を果たしている。

ただそこにはやはり主人公補正が入り、一部ではありえない勝負をしている。そこで今回は**ゲーム的に考えて**おかしいジム戦やリーグ戦を集めてみました。

【カントー編】

- ・VS. タケシ戦（ピカチュウ VS イシツブテ）

イシツブテは電気無効の地面タイプを持つのに、**ピカチュウの10まんボルトで黒焦げにされた**。余談だが、ホウエンでも最初のジムでイシツブテを電気で倒している。

- ・VS. カツラ戦（ピカチュウ VS サイドン）

サイドンの角に電気技が命中。**金属だから電気がよく通るそう**だ。だが後のシリーズで、**角はひらいしん*2**として登場。このため、ピカチュウの電気が封じられてしまう。

【オレンジ諸島編】

- ・VS. ユウジ戦（カイリュー）

ポケモンは通常4個の技しか使えない。しかし、ユウジのカイリューはなんと**10個の技を持っている*3**。

【ジョウト地方編】

- VS. シジマ戦（ピカチュウ VS ニョロボン）

ピカチュウの10まんボルトに耐える脅威のニョロボン。そしてこのニョロボンは**おうふくビンタでピカチュウを倒してしまう**。

【ホウエン編】

- ・VS. ナギ戦①（ジュプトル VS チルタリス）

チルタリスはドラゴン・飛行の2タイプをもち草技が1/4しか受けない。そんなチルタリスに、ジュプトルは草タイプの**リーフブレードを使い一撃で倒してしまう**。

- ・VS. ナギ戦②（ピカチュウ VS ペリッパー）

ペリッパーは水・飛行の2タイプで、電気技が4倍ものダメージを受ける。しかし、ピカチュウはそんなペリッパーに**なんと相打ち**。いかに空中戦が苦手とはいえ、これはどうなのだろうか。

- ・VS. アダン戦 (ジュプトル VS ラブカス)

ラブカスファン必見の勝負。なんとあのラブカス (水タイプ) がジュプトル (草タイプ) をみずでっぼうで倒してしまう。

【バトルフロンティア編】

- ・VS. コゴミ戦 (カビゴン VS ハリテヤマ&チャーレム)

カビゴンが格闘タイプを2体も倒すという快挙をなしとげる。ハリテヤマのきあいパンチ、チャーレムのとびひざげり、きあいパンチ、れいとうパンチを受けきる脅威の耐久を誇った。

- ・VS. リラ戦 (ヘイガニ VS フーディン)

フーディンのサイケこうせんで混乱したヘイガニ。そこでサトシは混乱を解くために、ヘイガニをボールへ戻した。そしてそのままヘイガニをもう一度出し、フーディンを倒してしまう。

- ・VS. ジンダイ戦 (ピカチュウ VS レジアイス)

ねむりが終わった直後のレジアイスを、ピカチュウはボルテッカーの一撃で倒してしまう。

このような、変な勝負が多いのはアニメの演出のためでしょう。手持ちの6匹全てを活かすには、やはり相性を超えた戦いも必要です。何よりポケモンの見所は、ポケモンとサトシの成長物語であり、時にはタイプ上の強敵も乗り越えねばなりません。

現在、サトシはシンオウリーグに挑戦中。残るバッチはあとひとつ。その裏では、ギンガ団の暗躍や、ライバルのシンジ*4との戦い。ヒカリのコンテストへの挑戦など、ゲームもアニメも目が離せません。

* 1、ゲームにおけるホウエン地方のバトルフロンティア。

* 2、サイドンの特性。電気タイプの技をすべて受ける。ダブルバトルで有効。

* 3、みずでっぼう、れいとうビーム、たたきつける、りゅうのいかり、10まんボルト、ロケットずつき、のしかかり、こうせきいどう、かみなり、はかいこうせん。

* 4、シンオウ編におけるサトシのライバル。サトシとは正反対のバトルスタイルをとる。能力値の低いポケモンはすぐ逃がし、強いポケモンだけをゲットするなど、現実のポケモン廃人そっくりの行動をしている。